

インドも電力制限？！

JSC 貿易部ニュース インド編

秋晴れの清々しい日々、みなさま如何お過ごしでしょうか。

さて、コロナ禍がやや落ち着きを見せ始めた今日この頃ですが、今度は世界中が電力不足という新たな問題に直面しています。石材業界においても、中国各地で10月から始まった電力制限によって、製品価格や納期などに大きな影響が出始めています。

こと中国での問題は、石材店様の日々の仕事にも直接的に影響を及ぼすため、大きなニュースとなって業界内を駆け巡りましたが、ご承知の通り電力不足は中国だけの問題ではありません。実はインドでも深刻な電力不足問題が起きているのです。

中国では総発電量に占める石炭火力発電の割合が56%程度といわれていますが、インドでは70%以上。(※ちなみに日本は32%ほど)

いかにインドが石炭火力に依存しているかが分かります。



写真はインディアンエクスプレスの記事からですが、インドでもコロナ禍が落ち着きを見せ始めたことで、電力需要が急増。

インドは中国に次いで世界第二位の石炭生産国ですが、それでも追いついていません。

その結果、中国同様電力不足に陥っています。

もっとも深刻なのは、北東部ビハール州、ジャールカンド州、北西部のラジャスタン州です。これらの地域では、頻繁に停電が起きているようです。

では、石材産地や工場のある南部はどうなんでしょうか。現地チェーンナイの日本向け墓石工場に聞き取りをすると、「電力制限は今のところ、大きな影響ないですよ」とのこと。

まずは、一安心です～。

では、丁場への影響はどうでしょうか？

各丁場は軽油を使用して採掘をしているので、こちらも電力制限の影響は無いようです。



写真は、当社イチ押し、大好評をいただいております「銀河A T P」の丁場です。ご覧の通り採掘は順調です。

しかしながら軽油価格が高騰しているので、インド産原石全般、製品価格には大きな影響が出てきています。中国工場では海上運賃の高騰も加わり、インド材の製品単価が跳ね上がってきております。

以上がインドの電力制限の現状と影響ですが、現時点においてはインドの墓石工場や丁場への影響は少ないようです。しかしながら、状況が変化する可能性はありますので、今後とも注視しながら、随時最新の現地情報をお伝えしてまいります！

さて、今月の石のお話です！

1970年代初頭に採掘が始まった、インド産銘石のひとつ「カラハリ」のご紹介です。最盛期には20丁場以上あった「カラハリ」の丁場ですが、需要減などの理由により一時、全ての丁場が停止しておりました。その後、1～2か所の丁場が稼働を再開し現在に至っ

ておりますが、掘り口ごとに目合いや色合いの差があり原石の歩留まりが低いこと、また吸水の少ない石が好まれる傾向が強まったことから販売数は少なくなっていました。

当社としても長らく原石購入を見送っていた経緯がありましたが、この度、問い合わせがあったことからインドのパートナーに丁場の調査を依頼しましたところ、良質の素材が出ておりました！

各ブロック、石目も揃っていて、青味も綺麗でムラも少ないです。



これなら売れるのでは?!と期待しながら、早速商談用サンプルをインドのパートナーに依頼し国際宅急便で送ってもらいました。

数日後、本社に到着したコップです。中国工場にある一般的な「カラハリ」と比較すると、石目の細かさは同等ですが、青味があり綺麗です。



中国のパートナー工場に購入を打診したところ、早速ご注文を頂きました！

一刻も早く皆様のお手元に製品をお届けできるような体制を作りたいところではございますが、10～11月はインドでは祝祭日が続きます。

10月16日は、インドの三大祭りの一つダシャラ祭がありました。ヒンズーの英雄であるラーマ王子が3人の悪魔と10日渡る戦いの末、勝利したことを祝うお祭りです。

10月19日は、イスラム教のモハメッド誕生日でした。

そして11月4日には、これまたインド三大祭の一つディワリ祭があります。ヒンズー教の新年祭ですね。

このようにイベント続きで思うように作業が進まないのですが、中国工場に到着するスケジュールがある程度わかってきましたら、皆様にご報告させていただきます！

お楽しみにしておいてくださいませ～！

今月も最後までお読み頂きありがとうございました。

これから益々寒くなってきますが、どうかくれぐれもご自愛くださいませ。

以上

2021/11/01